

地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和３年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・各地域の支援ニーズに基づいたオンライン活用支援を継続して行うことで、コロナ禍でも地域内での円滑な情報交換につながり、運営委員会についてもリモートで実施された。 ・地域の人材と地域活動協議会を繋ぐ窓口となることで、新たな担い手による事業や Facebook アカウントの運用を担う人材が拡充された。 ・地域、専門学校、社会福祉法人と連携し、小学校の児童が絵をかいて地元の高齢者が色を塗る「つながる、塗り絵」展の企画、運営支援を行ったことで、外部の活動主体との連携・協働が促進された。今後企業の地域活動への参画や連携について、より一層の支援に努めてもらいたい。 ・補助金講習会及び補助金マニュアルの随時更新を行い、会計事務の適正な執行が促進されたが、依然地域ごとに進捗に差があるため、課題の残る地域に対してより一層の支援が必要である。 ・一部の地域にて町会活動チラシの作成支援や、UR 掲示板へのポスター掲示の働きかけを行ったことで町会加入促進につながった。引き続き他の地域への拡大を図るとともに、地域のイベントなどさまざまな機会を活用し、町会加入のメリットなどを積極的に情報発信されるよう努められたい。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
A	・ 市政改革プラン 3.0 改革の柱 4 「ニア・イズ・ベターの徹底」地域活動協議会構成団体が地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合 令和 3 年度 91.3%（令和 3 年度目標値 88%） ・ 都島区運営方針「コミュニティ豊かなまちづくり」まちづくりセンターにおいて地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思う割合 令和 3 年度 91.4%（令和 3 年度目標値 87%）

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により地域事業の中止や規模を縮小して開催される中で、「つながる、塗り絵」展を企画・運営支援してさまざまな活動主体との連携・協働につなげた。また、チラシの作成支援や UR へのポスター掲示が町会加入促進につながった点について評価できるとともに、地域活動協議会構成団体アンケートにおいても目標以上の数値を達成している。 ・ 一方、会計事務に課題の残る地域に対しての会計支援、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進や第一層支援、企業等の地域活動への参画や連携について、計画的に推進されることを期待したい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。